



社教NFTかわら版

中部教育事務所社会教育だより (NFT=network・footwork・teamwork)

中部教育事務所第54号
令和5年12月25日
主任社会教育主事
山崎一也・濱本智子
地域連携担当主事 竹内実佐恵

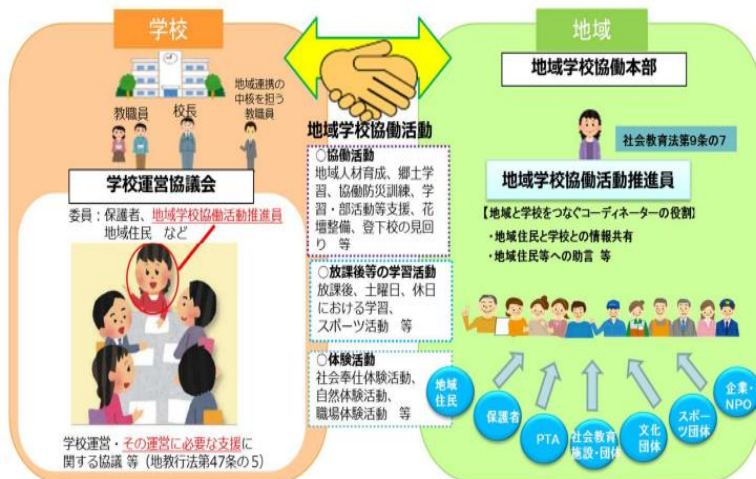
令和5年度 高知県地域学校協働活動研修会（中部ブロック）

令和5年10月20日（金）に本山町立嶺北中学校にて、令和5年度高知県地域学校協働活動研修会が開催されました。本山町では、町の教育Vision「郷土に誇りを持ち、心豊かでたくましい人づくり～0歳から18歳までは地元でそしてふるさとへ～」を受けて、15年間で身に付けたい嶺北ACT（行動する力・協働する力・考える力）や小中9年間の生活科・総合的な学習の時間の全体計画が示されています。学校と地域が連携した町全体としての教育活動が高知県の中でも先進的に展開されています。



【 地域学校協働活動とは 】

地域の高齢者、成人、学生、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行うさまざまな活動です。この活動を支える仕組みとして「地域学校協働本部」があり、高知県内のすべての小中学校で設置されています。コミュニティ・スクール(学校運営協議会)と一体的な推進をしていくことで、より効果的に活動を実施することが可能となり、学校と地域が「一体的」に取り組む推進体制を構築することができます。



コミュニティ・スクールのつくり方(文部科学省)

【 公開授業・実践発表より 】

公開授業では、1年生は、「本山町の魅力を深掘り」、2年生では、「販売実習を成功させよう」、3年生では、「本山町☆MIRAI☆のつくりて」という内容で、地域の人を知り、地域の自然や歴史、産業を学び、地域の未来を考える、学校と地域が協働し、子どもたちの学びをつなぐ取組を見させていただきました。



実践発表では、「できる人が できる時に できることから」と題して、学校支援コーディネーターからは町内の学校と地域をつなぐ活動やコーディネーターの役割について、そして嶺北中学校からは総合的な学習の時間の取組や学校運営協議会について具体的な取組の発表がありました。

【 参加者の感想や意見より 】

○地域の方々からの支援によって、学校の教育活動もさらに活発になると感じました。本山町の進んだ取組をお聞きし、もっと地域と学校との関わりを増やしていきたいと思いました。

○嶺北中学校において、町内で実践されている方々と共に生徒たちが取り組んでいる総合的な学習の時間の実践は、将来のすばらしい本山町の町づくりや人づくりにつながる、すばらしい実践であると思います。

○ちょっと助けてもらいたい内容や、ちょっと人手が欲しい活動等への取り組みが充実することが、学校の先生方も余力をもって充実した実践ができるし、地域のサポートの方々もやりがいと生きがいにつながる取組になればと今後も期待しています。

中部教育事務所管内の社会教育活動を発信します



この「社教NFTかわら版」はみなさんの地域や社会教育活動を応援する情報誌です。

社会教育に関する活動情報がありましたらぜひお知らせください。

連絡先 高知県教育委員会事務局 中部教育事務所

TEL 088-893-6166 FAX 088-893-6167 E-mail 310305@ken.pref.kochi.lg.jp

